

製品名: SKP2 (13N4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17934**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:20-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IF-P 1:20-1:50
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	SKP2
別名	FBL1; FLB1; FBXL1; MGC1366; SKP2;
遺伝子 ID	6502.0
SwissProt ID	Q13309
免疫原	ヒト SKP2 の合成ペプチド

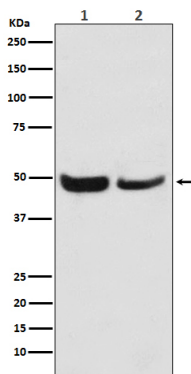
背景

細胞周期の進行、シグナル伝達および転写に関与する標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する SCF (SKP1-CUL1-F ボックス タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質認識コンポーネント。SCF (SKP1-CUL1-F-box タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質認識成分は、細胞周期の進行、シグナル伝達、転写に関与する標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介します (PubMed: 11931757、PubMed: 12435635、PubMed: 12769844、PubMed: 12840033、PubMed: 15342634、PubMed: 15668399、PubMed: 15949444、PubMed: 16103164、PubMed: 16262255、PubMed: 16581786、PubMed: 16951159、PubMed: 17908926、PubMed:17962192、PubMed:22770219、PubMed:32267835)。リン酸化 CDKN1B/p27kip を特異的に認識し、G1/S 期遷移の制御に関与する (相同性による)。CDKN1B/p27kip の分解にも CKS1 が必要である。標的タンパク質 ORC1、CDT1、RBL2、KMT2A/MLL1、CDK9、RAG2、FOXO1、UBP43、YTHDF2、およびおそらく MYC、TOB1、TAL1 を認識します (PubMed:11931757、PubMed:12435635、PubMed:12769844、PubMed:12840033、PubMed:15342634、PubMed:15668399、PubMed:15949444、PubMed:16103164、PubMed:17962192、PubMed:16581786、PubMed:16951159、PubMed:17908926、PubMed:32267835)。TAL1 の分解には STUB1 も必要である (PubMed:17962192)。CCNE1 または CCNE2 と CDK2 の共存下で CDKN1A を認識する (PubMed:16262255)。CK1 依存的に CDH1 のユビキチン化と分解を促進し、細胞遊走を制御する (PubMed:22770219)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における SKP2 発現のウエスタンブロット解析。